

2026年5月19日

## 最近の長野県経済の動向 (月例調査)

### 概要

全国景気※	緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある
長野県内景気	生産面など一部で弱さがみられる
2月の生産動向	生産は減少している
3月の個人消費	乗用車新車販売台数は2カ月ぶりに前年を上回る
3月の公共投資	公共工事保証請負額は2カ月連続で前年を上回る
3月の住宅投資	新設住宅着工戸数は4カ月連続で前年を下回る
3月の雇用情勢	有効求人倍率は4カ月ぶりに前月を上回る
今後は、中東情勢の悪化に伴う資源価格上昇や供給面への影響について注視する必要がある	

※内閣府「月例経済報告(2026年4月)」より

照会先

一般財団法人 長野経済研究所 調査部

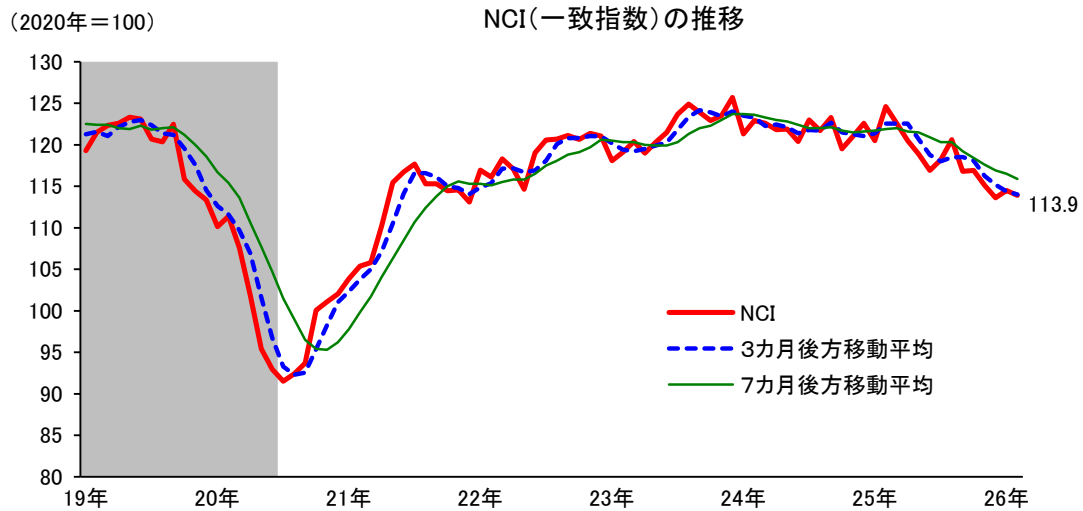
担当 桑井、須田

電話 026-224-0501



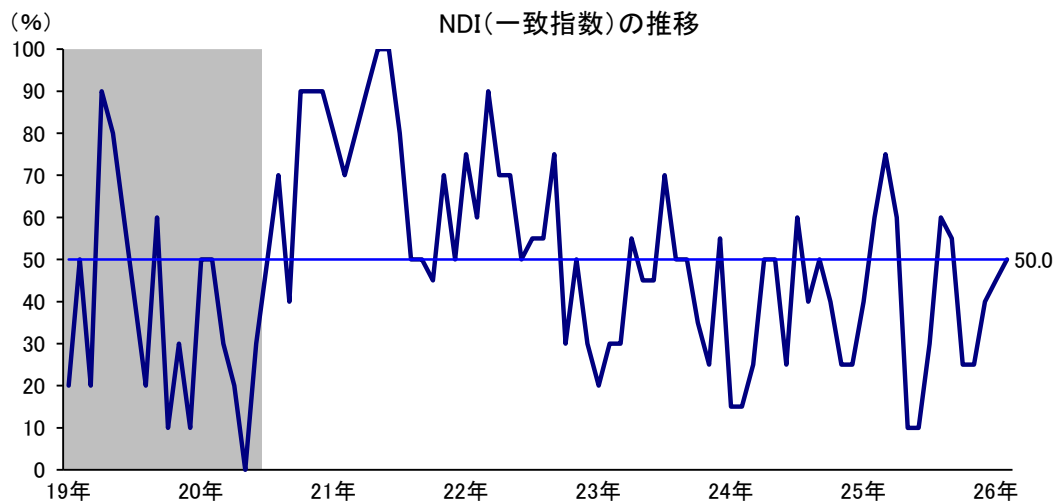
## 景気動向指数

- ・2月のNCI(一致指数)は、113.9と前月と比較し△0.6ポイントとなった。3カ月後方移動平均は、同△0.4と5カ月連続で、7カ月後方移動平均は、同△0.6と6カ月連続で、それぞれ低下した。NCI(一致指数)は、悪化を示している。
- ・NDI(一致指数)は、50.0%となり、景気判断の分かれ目である50%と同水準となった。



(資料)当研究所「長野県景気動向指数」

- (注) 1.NCIは長野県の景気変動の大きさやテンポ(量感)を示す  
 2.シャドー部分は長野県の景気後退期を示す

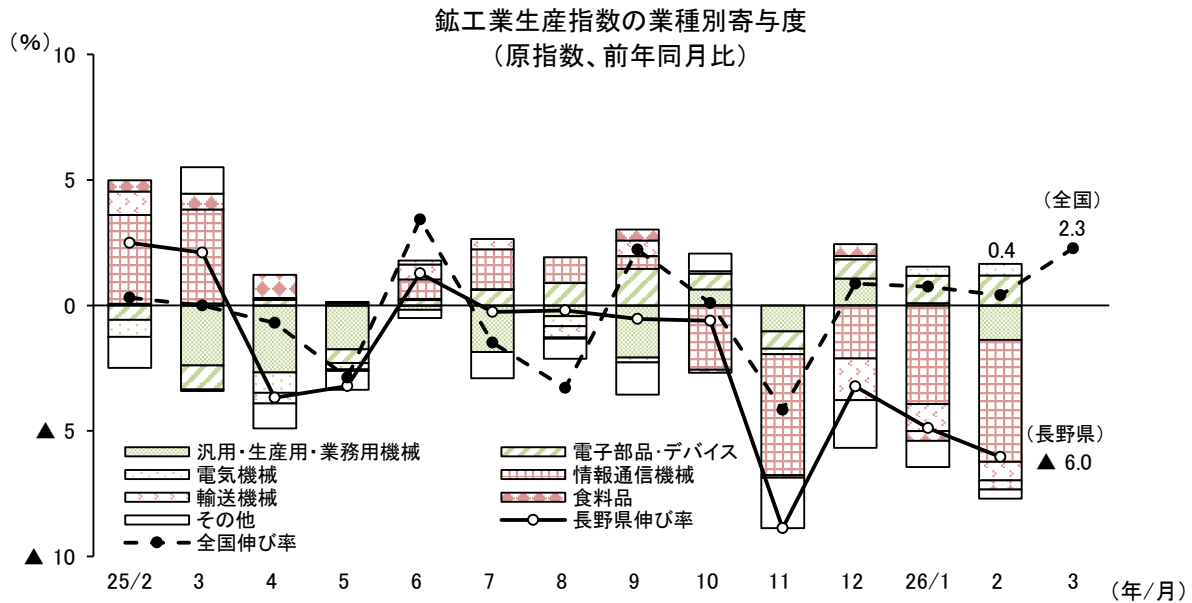


(資料)当研究所「長野県景気動向指数」

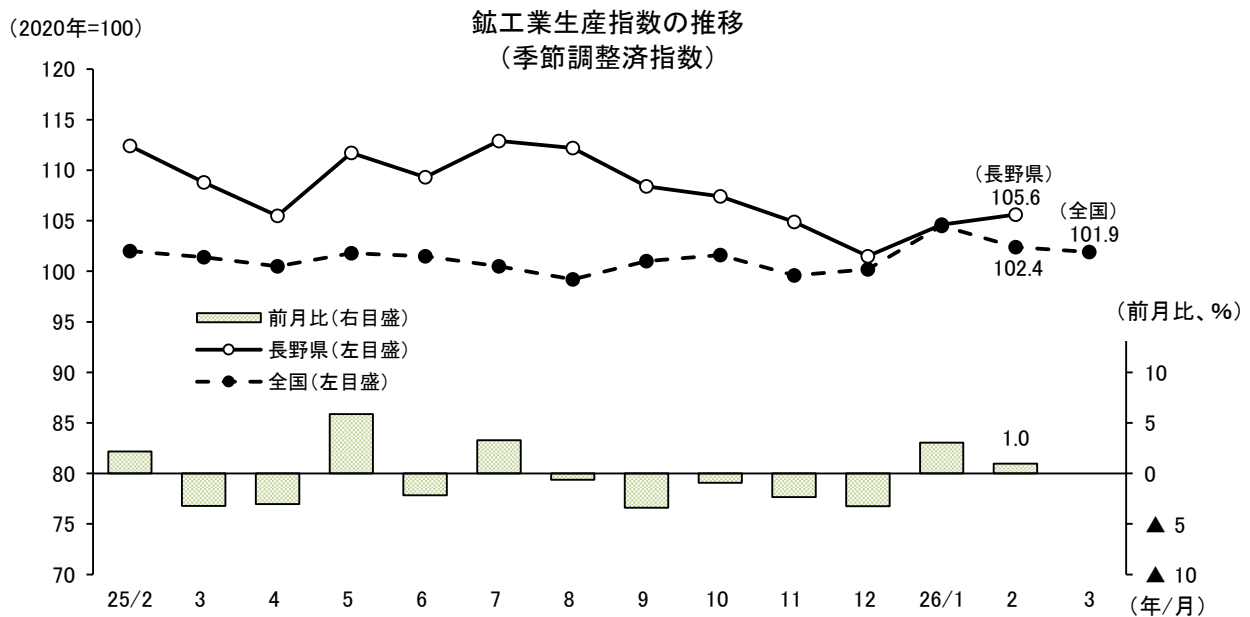
- (注) 1.NDIは長野県の景気の方角、波及度合いを示す  
 2.シャドー部分は長野県の景気後退期を示す

## 生産は減少している

- ・2月の鉱工業生産指数は、原指数が前年同月比△6.0%、季節調整済指数が前月比+1.0%となった。
- ・季節調整済指数は2カ月連続で前月を上回った一方、原指数は8カ月連続で前年を下回った。AIサーバー向けの部品など一部に増産の動きがみられるものの、車載関連向けなどが低調なことから、生産は減少している。
- ・主要業種別にみると、「電子部品・デバイス」「電気機械」が前年を上回ったものの、「情報通信機械」「汎用・生産用・業務用機械」などが前年を下回った。



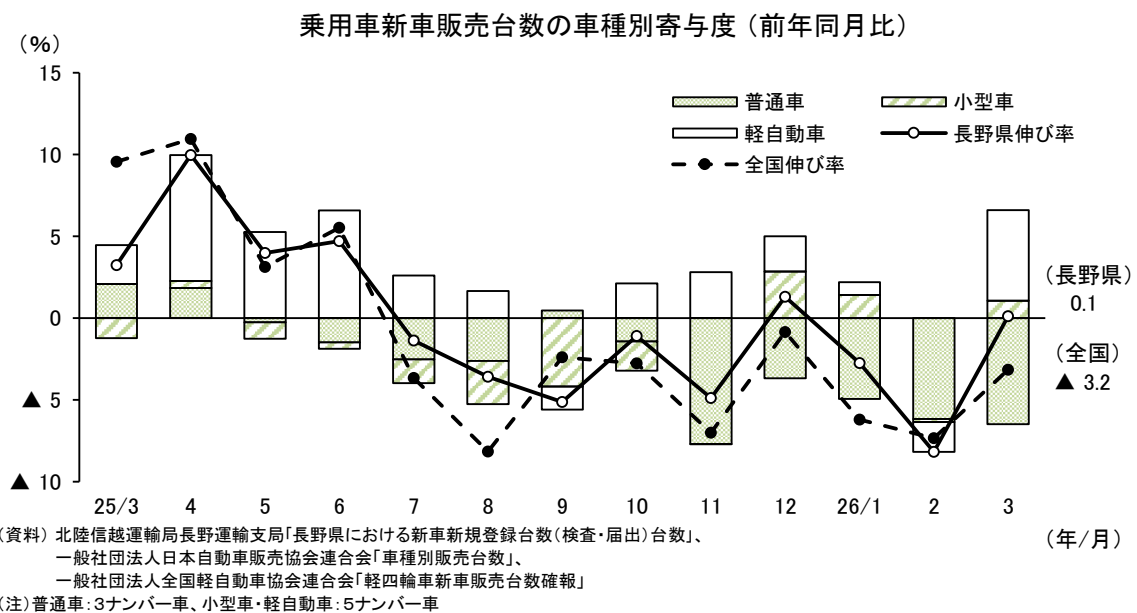
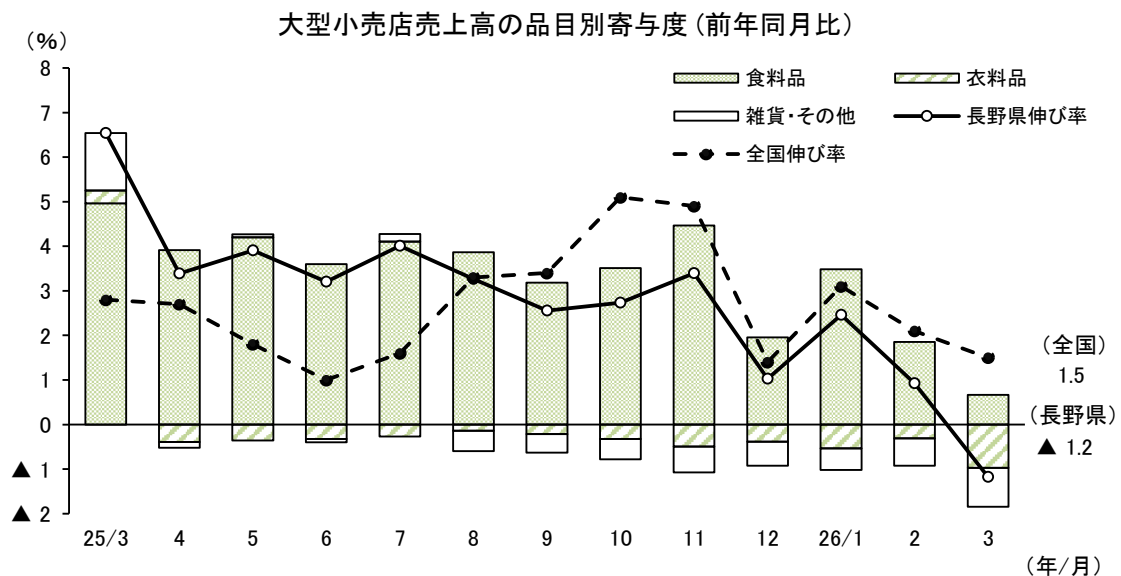
(資料)長野県企画振興部総合政策課統計室「長野県鉱工業指数」、経済産業省「鉱工業生産指数」  
(注)全国伸び率:26年3月分は速報値



(資料)長野県企画振興部総合政策課統計室「長野県鉱工業指数」、経済産業省「鉱工業生産指数」  
(注)全国:26年3月分は速報値

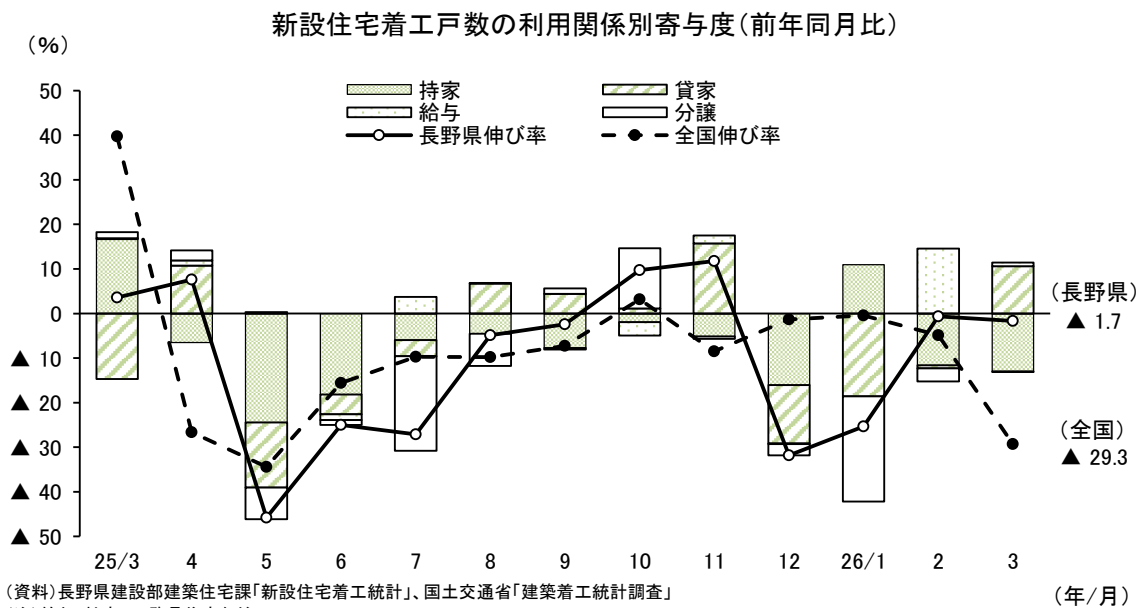
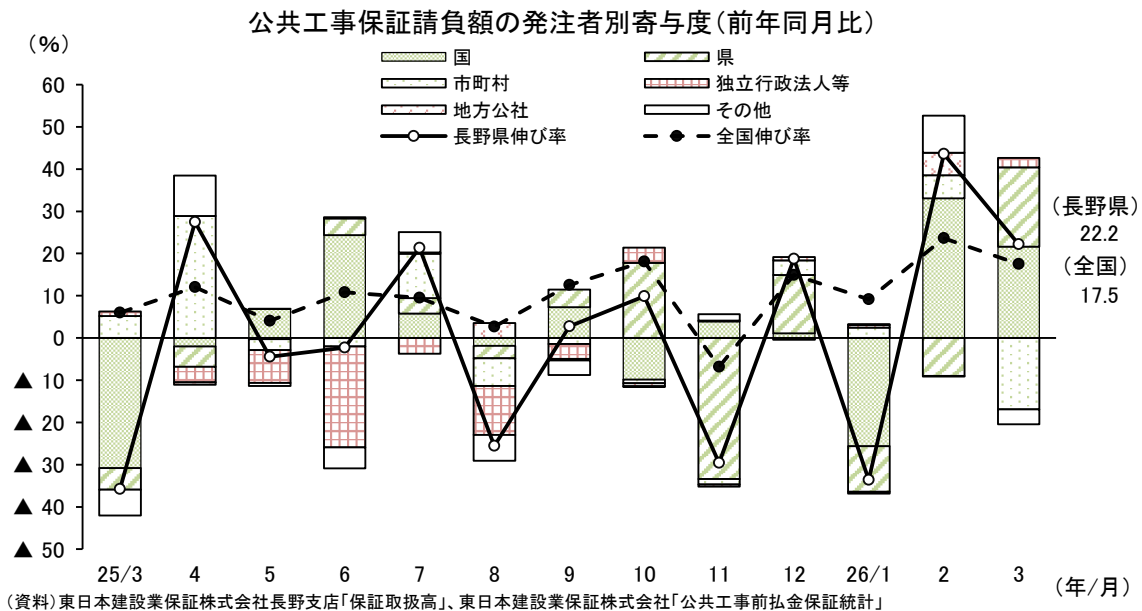
## 乗用車新車販売台数は2カ月ぶりに前年を上回る

- 3月の大型小売店売上高は、昨年3月にあった大型セールスの反動減から、前年同月比△1.2%（売場面積調整前）となり、54カ月ぶりに前年を下回った。食料品は、コメや調味料等の販売価格の上昇などが続き、同+0.8%となった。衣料品は、物価上昇による節約志向のさらなる高まりから、婦人服や紳士服のほか、子供服でも買い控えの動きが続き、同△20.8%となった。雑貨・その他も、化粧品等の買い控えなどにより、同△6.8%となった。
- 3月の乗用車新車販売台数は、前年同月比+0.1%と3カ月ぶりに前年を上回った。車種別にみると、普通車が前年同月比△15.4%と6カ月連続で前年を下回った一方、小型車は同+5.4%、軽自動車も同+14.5%といずれも2カ月ぶりに前年を上回った。



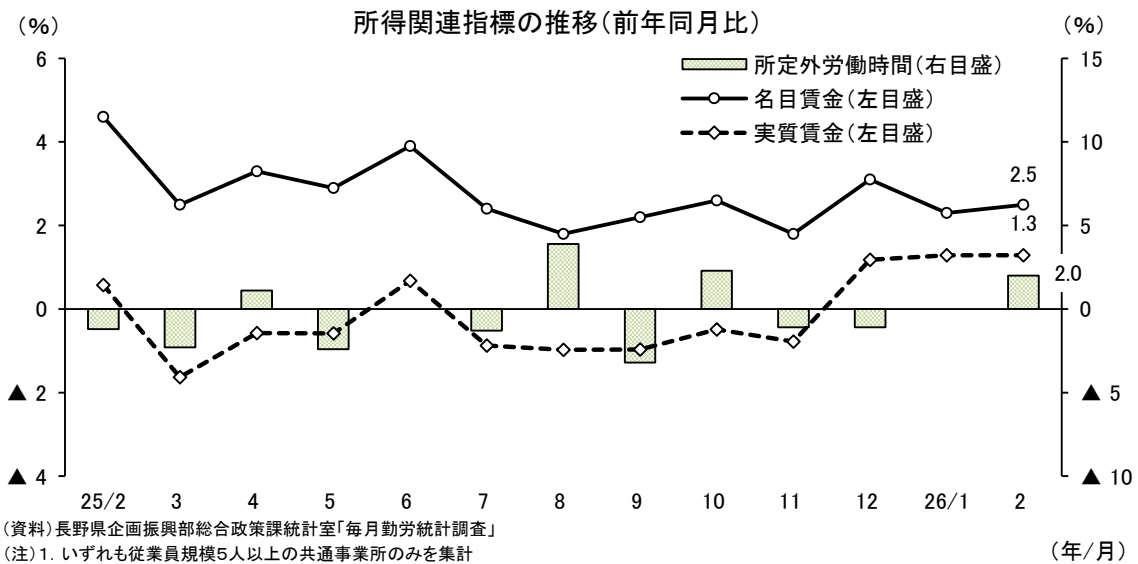
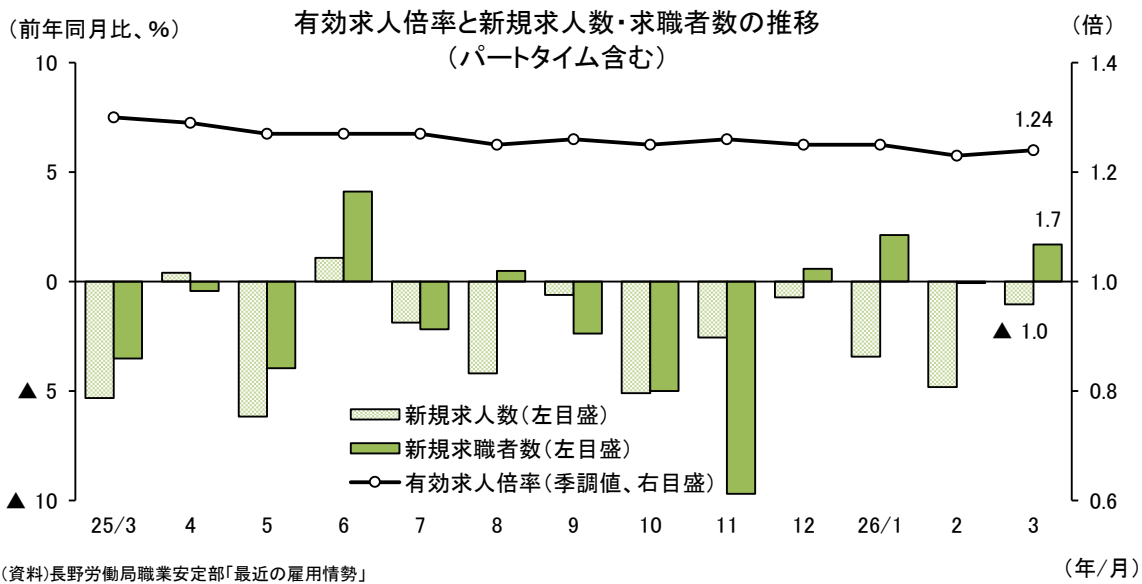
## 公共工事保証請負額は2カ月連続で前年を上回る

- 3月の公共工事保証請負額は、前年同月比+22.2%の173億9,300万円となり、2カ月連続で前年を上回った。発注者別にみると、市町村が同△49.5%、その他が同△21.9%と減少したものの、国が同+103.5%、独立行政法人等が同+77.1%、県が同+72.3%と増加した。
- 3月の新設住宅着工戸数は、前年同月比△1.7%の825戸と4カ月連続で前年を下回った。利用関係別にみると、貸家が同+43.8%、給与が同+233.3%と増加したものの、持家が同△20.7%、分譲が同△0.9%と減少した。



## 有効求人倍率は4カ月ぶりに前月を上回る

- ・3月の有効求人倍率は、前月比+0.01ポイントの1.24倍となり、4カ月ぶりに前月を上回った。
- ・新規求人数(全数)は前年同月比△1.0%となり、9カ月連続で前年を下回った。このうち常用は同△2.4%、パートは同△1.2%となった。主要産業別では建設業が同+5.8%、医療、福祉が同+5.3%、製造業が同+4.2%となるなど5産業は前年を上回ったが、運輸業、郵便業が同△13.8%、卸売業、小売業が同△8.3%、サービス業が同△0.5%となるなど8産業は前年を下回った。
- ・新規求職者数(全数)は、前年同月比+1.7%と2カ月ぶりに前年を上回った。
- ・2月の名目賃金は前年同月比+2.5%と58カ月連続で前年を上回り、実質賃金は同+1.3%と3カ月連続で前年を上回った。所定外労働時間は同+2.0%と4カ月ぶりに前年を上回った。



## 県内地域別・近隣都県別有効求人倍率

### 有効求人倍率は4地域いずれも前年を下回る

- ・3月の地域別有効求人倍率(全数)は、北信が前年同月比△0.04ポイントの1.22倍、東信が同△0.03ポイントの1.29倍、中信が同△0.18ポイントの1.24倍、南信が同△0.02ポイントの1.26倍となった。
- ・職業安定所別有効求人倍率(全数)は、伊那が1.35倍と最も高く、次いで上田が1.29倍となった。
- ・長野県の有効求人倍率は66カ月連続で全国を上回り、順位は前月と変わらず16位となった。

長野県職業安定所別有効求人倍率(実数値)(26年3月)

地域	北 信(1.22) (前年同月比▲0.04)				東 信(1.29) (前年同月比▲0.03)		中 信(1.24) (前年同月比▲0.18)			南 信(1.26) (前年同月比▲0.02)		
	長野	篠ノ井	飯山	須坂	上田	佐久	松本	木曾福島	大町	飯田	伊那	諏訪
全 数	1.28	1.13	1.08	1.27	1.29	1.28	1.26	1.27	1.13	1.21	1.35	1.22
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.04	▲ 0.01	+ 0.05	▲ 0.26	▲ 0.01	▲ 0.06	▲ 0.17	▲ 0.20	▲ 0.13	▲ 0.17	+ 0.11	▲ 0.03
うち常用	1.11	1.07	1.03	1.18	1.18	1.25	1.12	1.20	1.05	1.16	1.20	1.11
前年同月比 (ポイント)	▲ 0.06	▲ 0.04	+ 0.05	▲ 0.23	▲ 0.04	▲ 0.06	▲ 0.18	▲ 0.16	▲ 0.12	▲ 0.15	+ 0.12	▲ 0.04

(資料)長野労働局職業安定部「最近の雇用情勢」

(注)実数値とは、新規学卒を除きパートタイムを含む季節調整前の原数値

